

# 各地の話題 七ヶ浜町

水稲育苗ハウスで小松菜栽培～冬場の収入確保～

2024年9月20日号掲載



七ヶ浜町の（農法）ファーム七ヶ浜は、水稲育苗ハウスを有効活用するため、2016年から小松菜の栽培に取り組んでいる。

同法人は、東日本大震災後に増加した離農者の農地の受け皿となるべく、前身の七ヶ浜生産組合を母体に2015年1月に設立した。主に水稲と大豆を栽培しており、小松菜栽培は前代表理事の佐藤太郎さんが冬期の収入源を確保するために提案した。

現代表理事の佐藤<sup>やすお</sup>泰夫さんは「太郎さん以外は野菜づくりに関してほぼ素人からのスタートだった」と話す。

当初は計8棟のハウスのうち1棟のみで栽培していたが、現在は7棟（約9畝）まで拡大した。

2019年からは、冬の寒さにさらすことで葉が縮み、糖分と栄養価を高めるちぢみ小松菜に切り替え、で近隣の小売店へ販路を拡大した。昨冬の出荷量は約1.2トンと、開始当初の2倍以上となった。

佐藤代表は「後継者不足や高齢化で農家が減っている。若い方にとって農業を魅力ある職業にしていければ」と意気込む。

【記事提供】七ヶ浜町農業委員会

佐藤泰夫さん



収穫前のちぢみ小松菜

